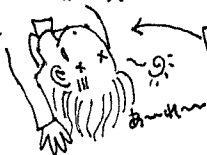


### アメリカの医療システム

だれしも異国の地で病気になって病院に行くのは、心細く、不安なものです。

ましてやアメリカで医療保険に加入してあらず

病院で治療を受けると、その後の請求書のあまりの高さに



しましう。以前私がアメリカに戻る際、飛行機の中で十分に水分をとらなかつたため、脱水状態になり、経由地点のサンフランシスコのメディカルセンターにいった時、注射一本をうてくれたのですが、

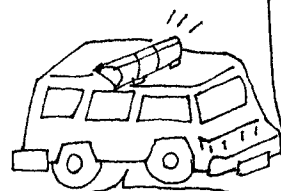


その代金が 320ドル (約3万3000円)

その額の高さにも目がまわる気もちでした。

その後みるみる元気になり、無事目的地にたどりつけたのですが、アメリカの医療は高いものだ—とつくつく感じました。(ちなみに日本からの旅行保険はその時適応されなかつたです。場所によって、病院で旅行保険が使えないところがあるので気を付けましよう。)

病気にならない、事故にあわないのがベストですが、いざという時のためには、保険に入るということがアメリカ生活においては常識といましよう。



### ヒーロー代?!

日本では救急車は無料で、た「れもが」それを常識と

思っているよう「ですが」、アメリカは違います。以前は無料だったのですが、大勢の人が「病院に行く時のタクシー代わり」のように使うので、最近有料になったそうです。それが「めちゃくちゃ高い!」昨年救急車を呼んで「病院」に行った時、後に請求書が440ドルでした。(約4万5000円) ひえ〜 (何言もいOK)

実は「サイレン付きた」とさらに高い。救急車にのり込むと、まず聞かれるのは「サイレンはならしますか?」イエスという追加料金をとられます。

私は追加料金をとられるのが嫌で「NO(いらないうです)」といいたのですが「運転手(救急隊員さん)は



無料でするからならしていい? 速く着くよー。

と、いわれ、「…はい…」と答えると威勢よく鳴らして病院直行。

トクしたのかなあ—もしかして…



### アメリカの救急医療

アメリカの救急で「すぐれているのはヘリコプターによる患者の搬送がとて迅速だ」ということ。

交通事故の多いアメリカでは事故現場に行くのも病院に行くのもその方法が効率的なのではい。発砲による外傷に対応した外科や、整形外科チームはいつも待機しています。

### ホテルより高い入院費!!

入院費も日本と比べものすごく高いのがアメリカ。ベッド代が平均1日1200ドル!(約13万円) プラス処置費なので、相当な額になります。

お見舞にいった時、相部屋にいた人が「朝ごはんをたべており、入院食のソーセージをつつきながら…

入院費に換算するとこれ50ドル位だな…

と、言ってたべてました。ちよとワイリ…



●平成8年3月 京都光華女子大学文学部日本文学科 卒業/平成8年3月~10年7月 宝塚市立看護専門学校 学校図書館司書として勤務/平成10年10月~ インターナショナル・インターンシップ・プログラムスの研修生として米国サウスカロライナ州のリベロン小学校に日本語教師として 派遣/平成11年1月~ サウスカロライナ大学付属語学学校にて英語コースを専攻(University Of South Carolina, English Programs For Internationals)/平成11年8月 サウスカロライナ大学(心理学専攻)修学/平成13年2月 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン勤務/平成15年よりアメリカ・メリーランド州ボルチモアにて結婚新生活を始める。